

教育方針（実践女子短期大学）

本大学の教育理念

学祖下田歌子先生の遺訓に、女性の資質は、純一で慈愛に富み、その清らかな徳性とゆたかな情操とをもって社会の弊を正し、広く世人に至福をもたらすことにあると述べられています。

本学はこの資質の涵養につとめ、内に剛、外に柔、時勢に即し適切な修練を重ね、絶えず進歩向上をはかり、世界の平和と人類の福祉とをめざして実践躬行、その任を果たすことをおののちに期待します。

よって本学は深奥な学術の研究と教授とを行うとともに、教養を深め知徳そなわり心身すこやかに、「品格高雅」にして「自立自営」しうる女性を育成しようとするものです。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学のアドミッション・ポリシーは、「知徳そなわり、心身すこやかな、品格高雅な女性を育成する」という教育理念を理解し、卒業後、社会人として生きていくのに必要な専門知識・教養・技能・資格を身につけたいと願う学生の受け入れにあります。

<日本語コミュニケーション学科>

日本語コミュニケーション学科では、コミュニケーションがしっかりできる、意欲的な人を歓迎します。

本学科は、豊かな教養を身につける学習とともに、実践的な実務能力を修得する教育を行います。どのコースに所属して、どのような勉強・資格取得に励むのか等についての自分の考えを具体的に伝えることが求められます。

<英語コミュニケーション学科>

英語コミュニケーション学科では、コミュニケーションがしっかりでき、何事にも意欲的に取り組む人を求めています。本学科は2コースに分かれています。両コースとも国際的な教養と英語の基礎の修得を基盤に、それぞれのコースに必要な知識とスキルを身につけていきます。当学科で、どのような勉強・資格に取り組むのか、具体的に自分の考えをまとめ、説明できる人を求めています。

<生活福祉学科>

生活福祉学科では、しっかりとした自己を持ち、周りの人たちと協力しながら積極的に物事を進めていくことのできる人を求めています。3つのコースに分かれて基礎的な知識と技術を学んでいきますが、どのコースに所属し、どのような勉強・資格取得を目指すかについて、自分の考えを伝えることができる人を求めています。

<食物栄養学科>

食物栄養学科では、「人間栄養学」の視点に立ち、栄養士としての実務能力を修得するための実践的な教育を行います。

本学科では、食と健康について学ぶことの意欲を持ち、勉学意欲の高い人を求めています。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、建学の精神に則り、「幅広い深い教養を基盤に、それぞれの個性・適性に応じて専門の学問を深め、それを実社会に役立てて実行できる実践力のある女性」を育成することを目指しています。この目標を現実のものとするために、本学のカリキュラムを構成する授業科目は、「共通教育科目」「専門教育科目」があります。

共通教育科目は、幅広く深い教養を身につけ、専門の学問を修めるための基礎となる科目です。

共通教育科目には、「実践スタンダード科目」、「実践アドバンスト科目」および「教養教育科目」が設定されています。

「実践スタンダード科目」

本学の全学生が共通に、しかも必ず履修する科目です。実践力のある女性を育成するための基盤となる科目で構成されています。

大学生活を円滑にスタートさせ、大学で学習していく上で必要不可欠な基本的知識や技能を身につけるための科目、卒業後の将来を見据えた生き方を考える科目、国際社会で活動するために必要される英語と情報の処理・活用に関する汎用的スキルを身につけることを目的とする科目が存在します。

「実践アドバンスト科目」

「実践スタンダード科目」を展開・発展・進化させる科目です。自分自身がさらに伸ばしたいスキル・能力・知識がある場合に、積極的に履修してもらいたい科目で構成されています。

「教養教育科目」

幅広い教養とものの見方、考え方、価値観を養う科目です。六つの科目群からなる幅広い分野を用意しており、自分が学びたい科目を選択して履修します。

「専門教育科目」

専門教育科目は各学科において、必修科目、選択必修科目、選択科目に分かれています。それぞれの教育目標により、全ての学生に学科専門の基礎となる教養・知識を身につけさせるために必ず履修する科目として設定された基礎科目が必修科目です。「選択必修科目」は、こうした必修科目を履修する中で特に興味をもった分野について、より深く学修・研究するために学生が自ら選択し履修する科目です。このほか、更に広く専門的教養を身につけさせるために、「選択科目」が用意されています。

<日本語コミュニケーション学科>

日本語コミュニケーション学科では、日本語・日本文学・日本文化に関する専門教育やコンピュータリテラシー教育を共通基盤として、情報スキル、コミュニケーションスキル及び出版編集の3コースにおいて専門性の高い実学教育を行い、教養と実務能力を兼ね備えた人材を育成することを目的としています。

学科の核となる日本語・日本文学系の専門科目と、各コースにおいて求められる知識とスキルを身につけられるようカリキュラムを編成しています。

<英語コミュニケーション学科>

英語コミュニケーション学科では、観光ビジネス、国際コミュニケーションにおいて、英語の運用能力の向上を図るとともに、英米の言語・文学・社会・文化に関する知識や国際社会の諸問題への認識を深めさせることを目的としています。

本学科では、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることと、英語及び英語圏の文化に関する知識を深めることができるようカリキュラムを作成しています。

<生活福祉学科>

生活福祉学科では、心理、ライフデザイン及び健康プランニングの3コースにおいて、自らの生活を自立的に営むことのできる女性を育成するとともに、心の豊かさとゆとりを生活目標とする「生活福祉」の向上を目指す教育を施すことを目的としています。

本学科では、高齢者や障害者はもちろん、誰にとっても暮らしやすい生活のあり方を追求できるようカリキュラムを編成するとともに、体験型学習を重視しています。

<食物栄養学科>

食物栄養学科では、食物・栄養学を有機的に関連付けた教育の下に、現代社会での健康と栄養とを取り扱う専門職を担う人材を育成することを目的としています。

本学科では、社会に貢献できる栄養士を養成するために、①栄養士の専門領域に関する基礎的能力、②栄養士に必要とされる知識、技術、態度及び考え方の総合的能力、③栄養の指導や給食の運営を行うために必要な能力を養うことができるカリキュラムを作成しています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の教育理念である、「教養を深め知徳そなわり心身すこやかに、「品格高雅」にして「自立自営」しうる女性を育成し、社会に送り出す」ために、共通教育科目並びに各学科が定めるカリキュラムに従い、卒業に必要な単位を修めた学生に、卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。